

宮城県宗務所報

発行所

曹洞宗宮城県宗務所

仙台市泉区市名坂字檜町169-4

TEL 022(218)3801

FAX 022(218)3803

e-mail:sotou-miyagi@road.ocn.ne.jp

発行者 所長 三宅良憲



(松澤山 湯船寺)

いつの間にかやら、秋風の吹く朝夕の涼しさが身を包む時を迎え、所長の任期も四ヶ月を残すのみとなりました。普通であれば「任期中大過なく過すことができましたのも皆様のお蔭でございました」というのが、退任の挨拶ということになるのだと思います。ところが「大過なく」という言葉がどうもしくくりこない。何しろ任期早々あの東日本大震災に見舞われたのですから。

従って、この四年間は震災との格闘でした。所費が所定通り集められない上に、所費減免の措置を本庁に合わせた形で行うことになったのですから。財政にゆとりがない上に、本庁の決定が遅れたのでした。お金がない上での運営を余儀なくされた訳でした。もっとも未曾有の出来事で津波の被害甚大でしたから、遅れるのも当たり前のことでした。運営に支障をきたさな



御挨拶

曹洞宗宮城県宗務所長

三宅良憲

いために、本庁に三千万の借金をお願いするところから始めました。そして、返済は私の任期中にという前提の下においてであります。急場を何とか切り抜け今年の三月に完済しました。逼迫財政の中独自の行事を実行できるわけもなく、金のかからない行事を持つことに心掛けるためには、本庁主催の補助が受けられる行事の誘致に頼るしか手はないということ、主に震災物故者供養と絡んだ行事を営弁することとなったのであります。震災物故者年回法要、

梅花流全国大会、總持寺二祖峨山禅師予修法要、管区集会等々です。これらをやり切ることは良き思い出となりました。

震災は忘れた頃にやってくると思いますが、次期所長老師は、このことを肝に銘じつつも復興に向けた独自色を打ち出せることだと思えます。大いに期待したいところです。

大本山總持寺二祖峨山禪師650回大遠忌 予修法要 東北管区護持会集会



「大遠忌予修法要」報告

第三教区 福定寺 山田達磨

東北管区における大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師六百五十回大遠忌予修法要が、去る七月十日松島町ホテル大観荘において、紫雲臺猯下御親修にて奉修された。

台風八号の上陸接近、それに伴う梅雨前線の活発な活動が懸念される中での開催であったが、東北管区内各宗務所から四〇〇名の宗侶・檀信徒が参列し、予定通り法要は開始された。

「二祖峨山禪師の行跡に思いをいたし、その大いなる足音を感じていただきたい」という宗務総長の挨拶の後、殿鐘を合図に梅花のお唱えが響き渡る中、紫雲臺猯下が御入場。お怪我からのリハビリのため代拝でのお勤めであったが正当献供出班が如法に修行された。

御遺徳を追慕し報恩の念を捧げる猯下の法語に耳を澄まし、出班焼香、そして維那の宣疏、会場は厳かな雰囲気包まれ、一同峨山禪師への思いを新たにされた。

法要の終わりに、紫雲臺猯下は

「お釈迦様から歴代の祖師方、両祖様、そして峨山禪師様へと相承されたみ教えを深くかみしめ、未来に向かって相承していかなければならない」と御垂示になり、会場に響く聖号の中御退場になられた。

続いて大遠忌局統監である大本山總持寺監院老師より、大震災からの復旧・復興がようやく始まったばかりのこの被災地東北において、予修法要が開催されたことに対する謝意、そして改めて峨山禪師の行跡とその恩に報いるための今回の大遠忌の意義と決意が述べられ、予修法要は円成となった。

今回の予修法要にあたり、参列者の一人として関係各位、当役の宮曹青諸兄、維那をお勤め頂いた天性寺老師のご尽力に感謝申し上げますとともに、今一度「大遠忌の在り方・迎え方」を顧みる必要も感じた。

「未来に向けて教えをどのような伝えていくか」を問い直し、実践していくことこそが二祖禪師への「報恩」なのであるから。

《東日本大震災復興支援室より》

宗務所副所長 佐竹孝喜

十二教区、石巻市大川地区の観音寺様は津波により、本堂、庫裡、山門、鐘楼堂の全ての伽藍と墓地が流出して全壊、また、檀信徒の大半が被災し、多くの犠牲者がでて今なお約三十五名の方が行方不明となっております。

被災後に宗門からプレハブの寄贈を受けましたが寺院跡地に設置することができないため、約一キロ離れた檀信徒の土地を借用し仮本堂として寺院活動をおこなっています。

寺院跡地は犠牲になられた方々の鎮魂と復興を願って高さ七メートル程の観音像が寄進され建立されており、墓地は復興整備が完了しています。

また、全校児童の七割が犠牲となった石巻市立大川小学校が隣地にあり、全国から多くの方が慰霊のために参拝しており、山沿いには桜の苗木が植樹され、新たに供養の場ができています。

震災から三年六ヶ月が過ぎ、仮設住宅で暮らしている檀信徒は、地域が災害危険地域に指定されているため、



建物を建設することができず、石巻市内や近郊の内陸地に自宅を再建している方が増えています。それにもない離檀する方が増えることが心配されます。

当地区には正月行事の「大般若経巡行」が約三百年前から行われており、どんな衆姿の着物にわらじ履きの四十五人の住民が、寺から六百巻の経文を分納した。ひとつ三十キロを超える六個の箱を二時間ほどをかけて、威勢の良いおはやしを響かせながら獅子舞と一緒に練り歩く行事がありました。しかし、今回の津波で所蔵していた大般若経六百巻が流出し再開の目途はありません。

津波による被害は、このような宗教行事、無形文化財にもおよびます。

以上のような状況で現在は再建の見通しは全くありません。行政が進めている復興住宅への入居や集団移転地の完成時期などを見据えながら、宗務所として今後の復興方法を当該寺院と共に検討し、支援していかねければと思えます。



「東北管区護持会集会」

東北管区護持会長 圓福寺檀信徒 鈴木敏彦



委員早坂文明老師を講師として、峨山禪師の足音」と題した研修会が行なわれた。

研修会では、大本山總持寺大遠忌局が企画・制作したDVD「相承ー大いなる足音がきこえますかー」が放映され、引き続き早坂文明老師の解説と講演がなされた。

七月十一日、宮城県松島町「松島ホテル大観荘」において、東北管区集会在開催された。当日、会場には東北管区より約四〇〇人が参集。午前九時三宅良憲東北管区長（宮城県宗務所長）の導師で開会式を修行した。関係諸役紹介ののち、柴田正晴宗門護持会会長、東北管区長、佐々木孝一宗門護持会常任顧問（宗務総長）の順に挨拶があり、引き続き、鈴木敏彦管区檀信徒代表理事（宮城県宗務所護持会長）により宗門護持会宣言が読み上げられた。

DVDでは、「二十五哲」と呼ばれた優れた門弟の育成や、「輪住制」を確立し、教団の教えを全国に展開する基礎をつくるなど、峨山碩禪師の大いなる功績を知ることとなった。

大遠忌は五十年毎。次のチャンスは皆無、峨山韶碩禪師六百五十回大遠忌予修法要並びに管区集会在廻り合えたことは千載一遇の出来事で、その幸せ及び喜びは絶大なものがある。

閉会式では、坂野総務部長並びに次回（平成二十八年年度）開催山形県第三宗務所阿部伸世所長の挨拶をもって散会。東北管区集会是無事円成した。

休憩ののち、大本山總持寺大遠忌局教化出版参与・常任企画

平成二十五年 度 第 二 回 現 職 研 修 会

平成二十六年二月十八日〜十九日

四 大 綱 領 II

第十八教区 舘山寺住職

葦名英順

平成二十六年二月十八日〜十九日の、現職研修に参加させて頂きました。

久方ぶりの受講の為、前回の「四大綱領I」の講義を受けぬまま…今回の講義の感想を書く事になり心の痛い所ではありますが、述べてさせて頂きます。

私達宗侶が常々布教教化を如何にすれば良いのか色々と研鑽・研究されている所ですが、明治の時代にも先人宗侶が悩み、導く基となるものを画策されてきた変遷をうかがう事が出来ました。

今回の講義を受講し、私達宗侶は『修証義』『四大綱領』を活用し、さらなる在家化導を考える時

代に移行してきた感じを受けました。
良く歴史家の方々は、歴史は繰り返すと言われます。「本証妙修」



が有り、時の移り変わりと共に思考錯誤を重ね、再び「本証妙修」にもどる。水流れて元、海に帰す的な繰り返しをへて現在にいたるという、教化活動に一石を投じる内容の講義と感じました。

毎年の特派巡回布教の折りにテーマとされますが、管長猥下の告諭でも示される「四摂法」をさらに在家化導の核として深く活用し、

今後の布教教化の活動に生かしていきたいと感じました。

「四大綱領」という難しくも重要なテーマを御講義頂き、歴史的考察からさまざまな変遷を提示して新たな布教活動への気付きをさせて頂いた事に深く感謝し、私自身も檀信徒の方々に向かい合い教導出来る様精進していきたいと思えます。





生きる権利を奪われた
飯館村の今

第二教区 西光院住職

坂本孝温



大画面に、現実の姿が写し込まれた。黒々と横たわる餓死牛、バズで避難する村民、放射能測定ス



ランド、放射能の記録、推移表、廃棄処分の牛乳、殺処分の家畜など等。区長である長谷川氏は、その一つ一つに丁寧にコメントを加え、説明していく、あまりにも淡々と語られるので、事の重大さがいや増して伝わる。とりわけ、隠蔽体質の東電、政府、村長等、役人達の非情さに憤りが大きくなるのである。聴衆は、あまりにもショッキングな内容に、言葉を失ったのでした。

被災三年という節目の年、タイムリーな企画に感謝の一念である。

それにつけても、今の飯館は被災直後と何一つ変わらず、時間の経過に慣れをもたらし、ストレスを募らせている。

福島震災関連死は一、六六〇人と直接死を六〇人程上回っている。この事実を考える時、宗教者として何をなすべきかを突き付けられていると言えよう。卑小な小生には、限りがあるが何らかの行動を起こしていかなばとの思いが募るのである。

最後に、飯館の現実を伝えるに相応しい映画を紹介する。



題名は、『家路』。松山ケンイチ、田中裕子出演の、福島、家族再生の物語です。野晒になっている牛の屍体を穴に埋め、小さな墓標を作る。その描写一つから、主人公の、そしてこの映画の静かな決意が感じられ、身の引き締まる思いがする。とかく敬遠されがちな福島、原発をテーマにして悲観や絶望に止まらない。映画ならではの独自の物語を創出している傑作といえます。きっと飯館が見えてきます。



平成25年度曹洞宗宮城県宗務所事業報告書(抜粋)

平成25年4月1日～平成26年3月31日

月	日	曜日	担当	内 容	摘 要
4	3	水	梅 花	梅花養成所初級	
	4	木	梅 花	梅花養成所上級	
	5	金	教 化	布教委員会	
	17	水	教 化	婦人会総会	松島水戸屋
	18	木			
19	金	庶 務	後期監査会		
5	8	水	梅 花	梅花養成所初級	
	13	月	梅 花	梅花養成所初級	
	14	火	教 化	寺族会総会研修会	松島一の坊
	15	水			
	17	金	宗務所	責任役員会・決算所会	
	29	水	梅 花	梅花全国大会	利府グランディ21
30	木				
6	3	月	教 化	護持会総会・特派連絡協議会	
	5	水	梅 花	梅花養成所初級	
	10	月	梅 花	梅花養成所上級	
	13	木	宗務所	災害寺院復興対策会議	仙台サンブラザ
	17	月	梅 花	梅花特派講習会	21日まで
	25	火	教 化	現職研修会	松島大観荘
26	水				
7	1	月	教 化	特派布教師巡回布教	5日まで
	17	水	梅 花	梅花養成所初級	
	18	木	梅 花	梅花養成所上級	
	23	火	教 化	寺族会理事会・研修会	
8	30	金	庶 務	前期監査会	
9	1	日	教 化	宮城県宗務所報88号発行	
	13	金	梅 花	梅花養成所初級	
	17	火	梅 花	梅花養成所上級	
	18	水	教 化	寺族会学習会	
10	4	金	梅 花	梅花養成所初級	
	7	月	梅 花	梅花養成所上級	
	15	火	梅 花	宗務所検定	第2教区林香院
	16	水	教 化	護持会本山研修	總持寺(18日まで)
	22	火	梅 花	宗務所検定	第13教区法山寺
	28	月	梅 花	宗務所検定	第17教区雙林寺
11	6	火	梅 花	梅花養成所初級・検定会	
	9	水	梅 花	梅花養成所上級・検定会	
	13	水	觀心センター	禪をきく会	東北福祉大学
12	3	火	梅 花	梅花養成所一泊研修会	秋保水戸屋
	4	水			
1	21	火	教 化	婦人会新年研修会	第2教区洞林寺
	30	木	庶 務	中期監査会	
2	4	火	教 化	布教委員会	
	5	水	梅 花	梅花特別講習会	秋保水戸屋
	6	木			
	7	金	人 権	災害対策委員会・後継者対策委員会	
	14	金	梅 花	梅花養成所上級	
	17	月	梅 花	梅花養成所初級	
	18	火	教 化	現職研修会	秋保水戸屋
	19	水			
26	水	教 化	寺族会学習会		
3	1	土	教 化	宮城県宗務所報89号発行	
	5	水	梅 花	梅花養成所初級	
	6	木	梅 花	梅花養成所上級	
	13	木	宗務所	責任役員会・予算所会	

平成26年度曹洞宗宮城県宗務所事業計画書(抜粋)

平成26年4月1日～平成27年3月31日

月	日	曜日	担当	内 容	摘 要
4	9	水	梅 花	梅花養成所初級	
	10	木	梅 花	梅花養成所上級	
	15	火	教 化	布教委員会	
	17	木	教 化	婦人会総会	
	25	金	庶 務	住職勤続祝賀会	新寺清月記
5	1	木	庶 務	監査会	
	7	水	梅 花	梅花養成所初級	
	8	木	梅 花	梅花養成所上級	
	14	水	教 化	寺族会総会	松島一の坊
	15	木	庶 務	責任役員会・決算所会	宗務所
		27	火	梅 花	梅花全国大会
	28	水			
6	4	水	教 化	護持会総会・特派布教師連絡協議会	
	9	月	梅 花	梅花養成所初級	
	10	火	梅 花	梅花養成所上級	
	12	木	管 区	管区人権研修会	秋田市
		13			
	16	月	梅 花	梅花特派講習会(20日まで)	
	23	月	教 化	現職研修会	松島大観荘
	24	火			
	30	月	教 化	特派布教師巡回布教(7月4日まで)	
7	10	木	管 区	二祖国師予修法要	松島大観荘
	11	金	管 区	管区集会	松島大観荘
	14	月	梅 花	梅花養成所初級	
	15	火	梅 花	梅花養成所上級	
8	29	金	庶 務	監査会	
9	1	月	教 化	所報90号発行	
	2	火	梅 花	梅花養成所初級上級合同	第21教区林泉寺
	12	金	梅 花	県奉詠大会	仙台市体育館
10	8	水	梅 花	梅花養成所初級	
	9	木	梅 花	梅花養成所上級	
	14	火	教 化	護持会本山研修会	永平寺
	15	水			
	16	木			
	17	金	梅 花	宗務所検定会	第13教区法山寺
	23	木	梅 花	宗務所検定会	第17教区雙林寺
	29	水	梅 花	宗務所検定会	第2教区林香院
11	5	水	梅 花	梅花養成所初級併設検定会	
	6	木	梅 花	梅花養成所上級併設検定会	
12	2	火	梅 花	梅花養成所一泊研修会	秋保水戸屋
	3	水			
	10	水	宗務所	臨時所会	
1	30	金	庶 務	監査会	
2	4	水	梅 花	梅花養成所初級	
	5	木	梅 花	梅花養成所初級	
	7	金	人 権	災害対策委員会・後継者対策委員会	
	18	水	教 化	現職研修会	秋保水戸屋
	19	木			
3	4	水	梅 花	特別講習会	
	5	木			
	12	木	梅 花	梅花養成所初級	宗務所
	13	金	梅 花	梅花養成所上級	宗務所
	16	月	宗務所	責任役員会・予算所会	宗務所

布教師協議会コーナー

Cafe 説法

ぞくぞく★ばらん



広瀨寺住職

奥野 昭典

第五十二回となる「仏の教えを聞く会」が、七月四日、長町の遊楽庵「びすたくり」を会場に開催されました。

今回の担当は、仙台市福聚院御住職の伊達廣二老師と奥野が務めました。古民家を改装した趣のある会場には、雨天にもかかわらず、四十名ほどの方々がお越しになられて、ほぼ満席の状態でした。

松山宏佑会長より挨拶の後、金田諦應副会長の軽快な司会で

進行されました。初めに、伊達老師より、中国を訪れた時の事を話題にお話し下さいました。

続いて、奥野が皆さんの前に立ち、お話をさせて頂きました。ご年配の方が多いようでしたが、若い方もお見えでした。普段の法話とは少し違って、皆さんの反応がひしひしと肌を感じるライブ感がありました。

法話は、説法者と聞法者との心のキャッチボールとも言われます。用意した原稿は見ずに、皆さんの表情を見るように努めました。話題は「布施」を中心に展開しました。「御布施」と「布施行」のパネルを掲示し、見返りを求めることなく、互い

に生かしあう生き方について、皆さんと共に考える時間を持つことができたと思います。

法話後の質問コーナーでは、来場の皆さん、お一人おひとりから記入頂いた質問について、

伊達老師、金田老師と三人で答えさせて頂きました。なかには死後の魂の行方について、質問もありました。「無記」と答えさせて頂きました。顧みまずと一見教義的な関心を満足させる質問のように思えても、その根底には「いま、自分は、どう生きるべきなのか」という、日常の懊悩から発する重い重い「問い掛け」ではなかったのかと痛感しています。

常に、相手の立場になって、深く受けとめ、寄り添うことの大切さを学ばせて頂きました。

《青少年教員員の活動について》



第一教区

青少年教員

國分尼寺 副住職

小枝 誠智

宮城県宗務所青少年教員は、今年度新たな辞令を管長猥下より頂戴し、総勢二十四名で活動を行っております。

これまでと比べ教員が若返り、鋭気に満ちた面々が揃いました。特に今期から任を受けられた新規の教員の方には法務多忙にもかかわらず、布教師検定の受験と度重なる演劇の練習公演をお願いしております。

活動はこれまで通り、演劇公演を中心に県内各地を廻っております。夏休み期間の各教区での子ども緑蔭等に於いて公演させて頂きました。

また、登米人権擁護委員協議

生活の中の仏教語

ーウロウロー

石巻市 宮殿寺副住職 永松隆賢

自動車にカーナビが当たり前のようになって久しいですね。

ナビの無い車に乗ると、不安で携帯した地図を途中で確認したり、お店や畑仕事をしている人に尋ねたりして、ウロウロしてしまうことがあります。つい最近も、見当違いの場所に案内されて大変でした。

現在では仕事にカーナビは必須、タクシーも標準装備がほとんどです。二〇一〇年の少し古い記録ですが、自家用車の装着率は五割を超えているとのことです。

さて、私がカーナビを特に便利だなと感じたところは、どんなに道を間違えても正しい道に

誘導してくれる機能です。まるで地獄に仏ですね。また、途中でちょっと寄り道をしたくなつて推奨ルートをわざと外しても、元に戻そうと健気に諦めずに声を掛けてくれた時は、あたかも欲望に振り回された「はぐれ者」を正しい道に戻してくれる菩薩様のようでした。

でも、人間が迷うのは道路だけではありません。進学や就職、恋愛など人生の様々な場面で迷い悩みます。

仏教ではその迷いの原因を「煩惱」と云い、自己中心的な「私利私欲」から生み出されるものだと説いています。煩惱は別名「有漏^{ウロ}」と云い身体から漏

れ出てくる欲望（煩惱）の事を表現しております。つまり煩惱に振り回されている様子を「有漏^{ウロ}」＝「ウロウロ」と表現したんですね。

「ウロウロ」している人は、人間本来の正しいあり方を見失い、欲望のままに振る舞って苦しんでいるのです。その悩みに、カーナビのように正しい道を示してくれるのが「仏の教え」ということです。

皆さん、機会がありましたならば是非とも仏様の教えを聞く場に足を運んでみてください。きっと人生の良きナビゲーションになりますよ。いささか抹茶臭いお話もありますが、きっと人生の役に立ついいお話もあります。

仏様の教えなんてつまらないと決めつけて歓楽街で「ウロウロ」していると、怪しい店にナビゲーションされますよ。

会、佐沼保育園で演劇公演を実施させて頂きました。

昨年度には宮城県くりはら倫理法人会のイブニングセミナー会に於いて、演劇公演といす坐禅を行わせて頂きました。

教化員の皆様には、布教師としての自覚と、ここでの活動の経験を糧として、青年僧としての今後のご活躍を期待させて頂きたいと思えます。



おすすめの本

所報編集委員 都築 幸二

「ゆるやかな生き方」 五木 寛之



最近、ネットでタブレット型の書籍が流行しているらしく、閲覧してみると、その蔵書数の多さに驚かされる。街から本屋がなくなると、古くは来るのでは…しかしながら、古い人間なのか、本を手にした時の感動と、ページを捲る時の緊張感はない。

一般書から五木の新作を取り上げた。著者は「禅をきく会」でも講演があるよう、仏教に造詣が深い。現代社会の急速な進化に順応出来ず、時代おくれ世代の中、ゆるやかに生きるための仏教的生活の「教え」が随所に描かれ、清々しさを感じる一書で、僧侶の話材にも宜しいのではないだろうか。

所報編集委員 計良 弘信

「いいお坊さん

ひどいお坊さん」

勝桂子 著



この本の著者は、本年七月に開催されました、「青少年教化指導者研修会」の講師としてご講義を頂いた先生です。本の中で、世間一般の人の良識と、僧侶のそれはあまりにもずれている事が、指摘されています。例えば、未だ一般の人の半数は僧侶は肉食、飲酒は禁止されていると思っています。又、お布施のお気持ちと思う金額も世間と僧侶では数十万円もかけ離れているようです。著者は決して坊さん批判のみしているわけではありません。お坊さんは、宗教者は何のために存在しているのか考えさせられる一冊です。

「精進料理」

山椒味噌

第十一教区 東松島市

功岳寺 住職 関 弘爾

【材料】

山椒の木の芽 法蓮草
味噌 砂糖 酒 みりん

【作り方】

山椒の木の芽味噌を作る。山椒の木の芽を用意する。それをすり鉢で摺り潰す。法蓮草は色よく湯がき、水をよく切ってから裏ごし器で漉す。

すり潰した木の芽に味噌を入れて摺り、そこに砂糖を入れる。おおよそ、味噌と同量の砂糖を入れ、酒、みりん、で摺りながら味を調える。

出来上がった味噌に、先の裏ごしした法蓮草を入れて摺り合わせる。これで山椒味噌の出来上がりです。これは木の芽味噌とも言います。

法蓮草は、山椒の灰汁を抜くといいますが、この味噌はあまり日持ちしないので、早めに食べてください。風味がよくほんとうにおいしいものです。筍に合える木の芽和えは筍に薄くした味をつけてください。

法蓮草の緑色が鮮やかなのが特徴です。茄子を、フライパンで焼き、胡麻と木の芽の味噌を載せました。味噌を焼くと焦げたところも美味しく、いろいろお試し下さい。



人権コーナー

過去帳の取り扱いについて

人権主事 辻 文生

二〇〇四年（平成十六年）長野県の一寺院住職が、過去帳に貧乏、生活保護、自損死、焼死、事故、独居老人、変死、などと書き込みをし、その過去帳が新聞に写真入りで掲載されました。差別戒名改正の取り組みにおける、過去帳記載の是正や、過去帳閲覧禁止事項に抵触するなど、宗門のこれまでの取り組みを大きく否定することになったこの事件から十年が経過しました。二度と繰り返かえさないため、本年宗務所として、本庁人権本部から「閲覧禁止」の赤いシールを教区長を通じて、各寺院に配布のうえ、過去帳に貼付するよう依頼しました。

檀信徒、第三者へ過去帳を閲覧



二〇〇四年（平成十六年）長野県の一寺院住職が、過去帳に貧乏、生活保護、自損死、焼死、事故、独居老人、変死、などと書き込みをし、その過去帳が新聞に写真入りで掲載されました。差別戒名改正の取り組みにおける、過去帳記載の是正や、過去帳閲覧禁止事項に抵触するなど、宗門のこれまでの取り組みを大きく否定することになったこの事件から十年が経過しました。二度と繰り返かえさないため、本年宗務所として、本庁人権本部から「閲覧禁止」の赤いシールを教区長を通じて、各寺院に配布のうえ、過去帳に貼付するよう依頼しました。

させてはいけません。このことは、檀信徒情報にかかる守秘義務違反および関係者へのプライバシーの侵害など、弁解の余地のないことです。

本年六、七月に、税務署が各寺院に調査指導に入り、過去帳の閲覧がありました。税務署の調査と言えども、絶対に過去帳を閲覧させてはいけません。すぐ本庁人権擁護推進本部に電話連絡し、人権本部と税務署との話し合いにより、過去帳閲覧は禁止となりました。

表紙写真説明



第七教区

湯船寺沿革

松澤山 湯船寺住職 仙石 義春

松澤山湯船寺は、天正四年（一五七六）八月三日大和町吉岡天龍山中興寺七世異巖文秀大和尚によって、富谷邑湯船澤の地に開山される。建立地には地名の如く湯が湧いていた様。（一説には慶長年間開山説有り）

堂宇等焼失により宝暦八年（一七五八）十世心海覚舟大和尚の時、現在地根崎澤に移転。明治二十年（一八八七）七月十二日富谷山観蔵寺を合

家、阿部八家の御三家である。文政十一年（一八二八）八月に現本堂の母体である本堂が落成。この時、開基御三家の仏間が堂内に設けられる。本堂落慶を記念して梅津屋七兵衛寄贈による金龍彫物（仙台市鍛冶町下網屋金助宝力軒雕竜作）檀徒婦人方々寄贈の牡丹に唐獅子二面がある。（富谷町文化財指定）

移転地には元文元年（一七三六）十世創基の子易聖観世音菩薩の観音堂があり、毎年三月十八日が例祭に当り、老若男女の信仰厚く安産の仏様として知られ、当時は出店も出たとの事。現在は本堂に安置。

開基は移転先土地寄進の内海家、材木等寄進の内ヶ崎總

易観音例祭の折、カマドの火の粉が茅葺きの屋根に落ち、幸いに焼失は屋根で済み部分改修。昭和四十六年先住祖庵屯祥大和尚代に大がかりな改修工事。現住になって山門、開山堂、位牌堂、会館、庫裡等の建設。また富谷町の人口増加に伴い墓地の整備拡張工事を行い現在に至る。

その昔、十宮と称した富谷も平成二十八年市政移行である。

新命住職

Table listing new appointments with columns for district (e.g., 第三教区, 第六教区), name (e.g., 榎木 泰教), age (e.g., 26), and tenure (e.g., 4 years 1 month).

結制修行

(一層の弁道精進を祈ります)

Table listing retreat participants with columns for district (e.g., 第十二教区), name (e.g., 夏・前・再会), and location (e.g., 香積寺).

遷化・逝去

(謹んで弔意を表します)

Table listing deceased members with columns for district (e.g., 第二十一教区), name (e.g., 菅原 芳子), age (e.g., 25), and tenure (e.g., 2 years 2 months).

布教師補任(令命一等)

(今後のご活躍を期待します)

Table listing new appointments with columns for district (e.g., 第五教区), name (e.g., 奥野 秀典), age (e.g., 26), and tenure (e.g., 8 years).

布教師補任(令命二等)

(今後のご活躍を期待します)

Table listing new appointments with columns for district (e.g., 第十三教区), name (e.g., 三宅 大哲), age (e.g., 25), and tenure (e.g., 4 years 25 months).

編集後記

東日本大震災の発生から早いもので三年六ヶ月が過ぎました。あの日のあつた被災地、避難所生活、余儀なくされた多くの人の生活も、曹洞宗青年会の宗侶が中心となり、ボランティア活動を行ってきました。活動の中心は「傾聴」で被災した人びとの心は「傾聴」で被災した話し合い、少しでも気持ちの安寧に努めました。このような時テレビの音声に耳を傾け心を揺り動かされました。団地にある『新宿』人情「保健室」といふ放送でした。

布教師協議会の行事 QR code and text: 携帯でみられます!